

2021.3.1

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

3~4月のニリンソウ月間は春の野草観察会 3/8、3/15、3/29、4/5、4/12、4/19
9:00 ため池公園梅林下スタート → 12:00 大門ニリンソウ自生地 誰でも歓迎!

2週間前とは別世界の春



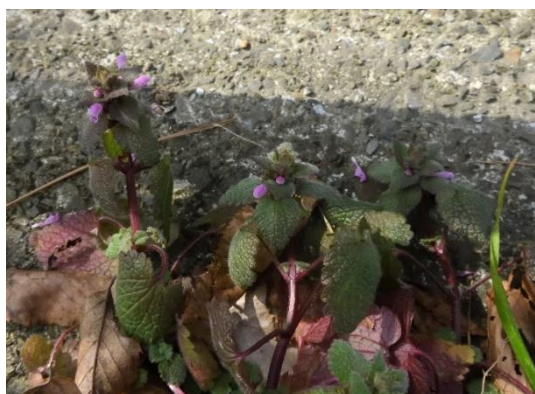
西高島平駅前の歩道橋から見た埼玉県秩父地方の武甲山。空気が澄んでいる真冬は山影がくっきりと見えるのですが、3/1は



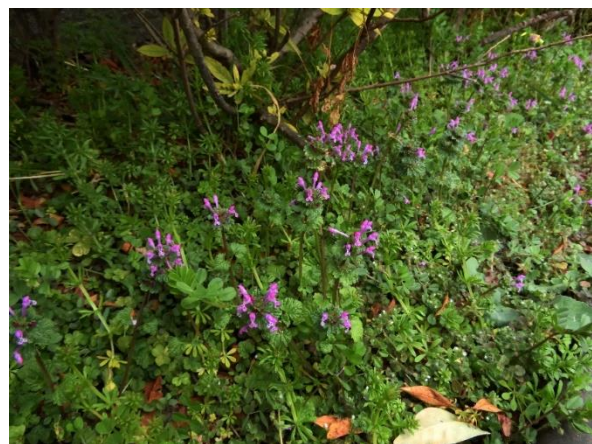
靄（もや）がかかったようにかすんでいました。暖かくなってきた証です。赤塚公園ではモクレンの大きな蕾が今にも開きそう↑。

足元では1か月前はまだ咲き始めだったオオイヌノフグリが満開（左の上）。その隣でヒメオドリコソウも。春一番の花が咲きそろい（左の下）。

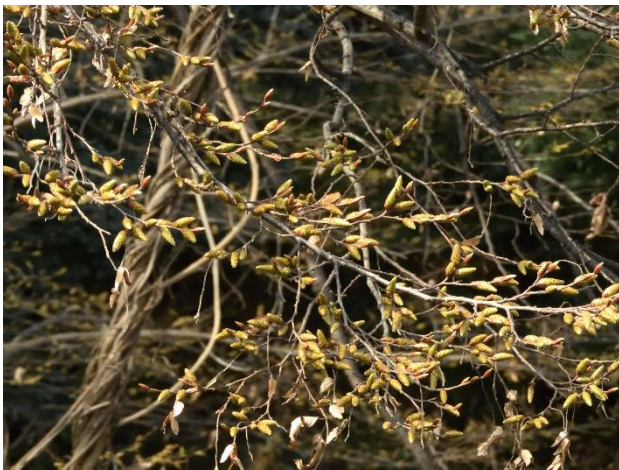
待ってましたとばかりに野草が咲きだしているのは赤塚公園だけではありません。まちなかの街路でも露地に野



草が咲き始めています。赤塚公園より約2℃気温が高い石神井川緑道ではホトケノザが満開です→。



樹木は新芽と蕾、地面は春の野草が次から次へと開花



大門と城址をつないでいる歩道橋の上からは**イヌシデ**が新芽を吹くと同時に花のつぼみを膨らませているのが間近に見られます。この歩道橋を左に行ったどうでもよいような道端に**カラスノエンドウ**の花がマメ科特有の面白い形を見せています。

ニリンソウは ????? という、「定説」よりも2週間早い開花



40年近くになる保護活動ですが、これまでは開花期を3月中旬、満開期を4月第二週という「定説」を発表してきましたのですが、この数年は開花が早まっています。3/1のモニタリングでも、あちこちで本格的な開花が観察されました。

大群落の大門地区では2/14にニリンソウを覆ってしまうヤエムグラの抜き取りを行いました。そのヤエムグラも3/1には開花を観察しましたので、開花前に作

業をしておいてよかったと思いました。

トピックス **ウツギ**が「^{うつき}空木」と書かれるわけ



城址の郷土資料館裏・元公園ではウツギが剪定してありました。切り株を見ると中心が空洞です（左写真上）。これが名前の由来。

新高島平の緑地ではアベリアが剪定されていましたがこれも幹が中空（同下）。

図鑑では、ウツギはアジサイ科ウツギ属、アベリアはスイカズラ科ツクバネウツギ属の植物の園芸種とされており、科名は異なっ

ても、両方とも「ウツギ」が付く属。すごく似ています。



赤塚公園友の会 参加団体の活動紹介

●**いたばし水と緑の会** 赤塚城址ばった広場、とんぼ池の管理 問合せ先：事務局 瀬田 03-3969-7124、または 坂本 090-4618-1295

1 **赤塚ピオトープ**(赤塚トンボ池、バッタ広場)の手入れ 3/27(土) 10:00~11:30 集合：板橋区立美術館そばの赤塚トンボ池前 雨天の場合は中止または翌日

2 **赤塚城址自然観察会とボランティア体験** 3/14(日) 10:00~11:30 集合：板橋美術館そばの赤塚トンボ池前

●**みどりの手** 赤塚城址などで林の手入れ 3/28 10:00 ため池梅林下集合 観察会

●**ニリンソウ自生地保護活動** 大門ニリンソウ自生地などの手入れ 3/14 10:00 大門観察台前集合 大門自生地の植物観察会

●**NPO 法人いた・エコ・ネット** 中央地区でコットン＝綿の栽培

関心のある方はサービスセンターにご連絡ください。友の会ボランティアが現地をご案内し、ご希望の団体を紹介します

問合せ先：**赤塚公園サービスセンターへ**

電話：03-3938-5715